

令和元年度決算の
あらましをお知らせします

ひと・暮らし
いきいきふくしま

子どもたちのための良好な環境の整備をはじめ、市民の健康づくりや高齢者の元気づくり、市民の安全安心の確保に取り組みました。



- 待機児童対策緊急パッケージ.....11億4,145万円
- 子ども家庭総合支援拠点事業.....1,809万円
- 放課後児童健全育成事業.....5億4,468万円
- 健都ふくしま創造事業.....771万円
- 高齢者元気アップ事業.....246万円
- 除去土壌搬出等推進事業.....120億3,233万円
- 消防救急デジタル無線更新整備事業.....1億7,973万円
- 令和元年台風第19号関連事業.....10億5,964万円
- 新型コロナウイルス感染症対策関連事業.....5,353万円

産業・まちに
活力ふくしま

産業・観光の振興をはじめ、まちのにぎわいと活力の創出を進めるとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機としたまちづくりに取り組みました。



(仮称)道の駅ふくしま 令和4年春開業予定

- プレミアム付商品券事業.....6億9,648万円
- 地域振興施設「道の駅」整備事業.....5億6,543万円
- 新規就農者の確保と育成事業.....2,691万円
- 企業立地促進事業.....1億4,802万円
- 東北六市連携事業.....2億5,170万円
- インバウンド推進事業.....6,154万円
- 東京2020オリンピック・パラリンピック推進事業.....6,689万円
- 福島大学農学系教育研究組織設置支援事業.....6億1,079万円

「元気あふれる福島市の新ステージ」の具現化に向けた
令和元年度の主な事業

風格ある県都ふくしま

「風格ある県都を目指すまちづくり構想」に基づく中心市街地と公共施設の再編整備を進めるとともに、広域連携の推進、歴史・文化と次世代環境が調和したまちづくり、移住・定住の推進に取り組みました。

- 風格ある県都を目指すまちづくり事業.....1,647万円
- 福島駅東口地区市街地再開発事業.....9,500万円
- 新浜町地区優良再開発型優良建築物等整備事業.....1億3,303万円
- 福島圏域連携強化推進事業・合同移住セミナー.....310万円
- 写真美術館再整備事業.....1億1,721万円
- 古閑裕而を活かしたまちづくり事業.....2,593万円
- 新最終処分場整備事業.....8億2,844万円
- 「ごみ減量大作戦」の実施.....1,628万円



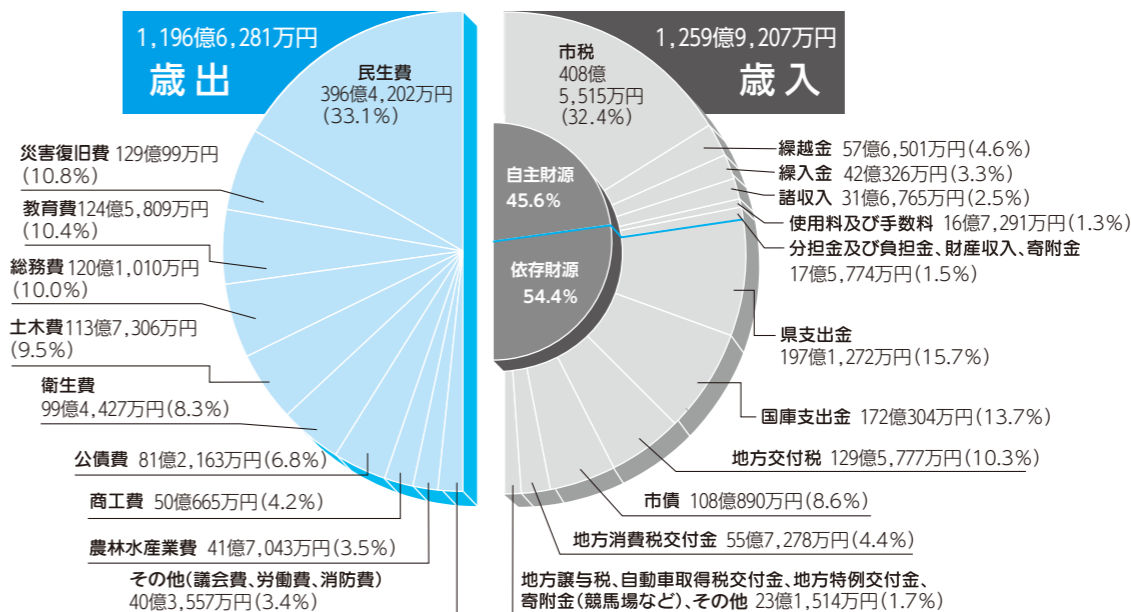
令和元年度は、市民との良好な対話と協働の推進を基本に、将来に向けて夢が持てる新しい福島市の創生に向け、「ひと・暮らしいきいきふくしま」「産業・暮らし活力ふくしま」の3つの政策目標を中心とした事業や、東日本大震災および原子力災害からの復興事業、令和元年台風第19号からの復旧と被災者支援などを中心に取り組みました。

除染事業の進捗により、令和元年度一般会計の決算額は前年度を下回り、歳入総額が1,259億9,207万円、歳出総額が1,196億6,281万円となり、差し引き63億2,927万円になりました。ここから令和元年度へ繰り越した事業の財源12億7,949万円を差し引いた実質収支額は、50億4,997万円の黒字決算となり、引き続き健全な財政運営に努めました。

主な重点施策事業・復興事業は、7ページをご覧ください。

問/財政課 ☎525-3704

一般会計歳出総額 1,196億6,281万円



特別会計・公営企業会計の収支決算

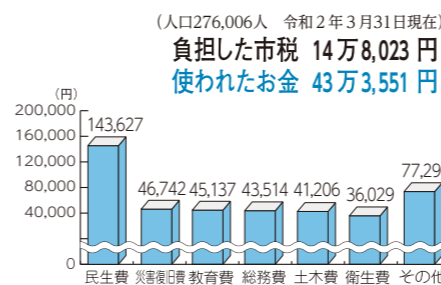
会計区分	歳入		歳出	
	歳入	歳出	歳入	歳出
国民健康保険事業	253億8,641万円	236億5,091万円	78億3,297万円	67億2,390万円
飯坂町財産区	2億667万円	8,621万円	7億8,855万円	32億6,532万円
公設地方卸売市場事業	2億5,961万円	2億1,497万円	77億9,601万円	69億7,702万円
土地区画整理事業	4億1,177万円	3億3,773万円	28億6,665万円	59億4,200万円
介護保険事業	265億5,932万円	263億1,450万円	1億6,829万円	1億6,770万円
庁舎整備基金運用	100万円	100万円	資本的収入	資本的支出
後期高齢者医療事業	35億2,247万円	35億380万円	28億6,665万円	59億4,200万円
青木財産区	1,348万円	70万円	1億6,829万円	1億6,770万円
工業団地整備事業	12億7,537万円	12億7,537万円	資本的収入	資本的支出
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	2,520万円	1,055万円	7,001万円	1億3,096万円
計	576億6,130万円	553億9,574万円		

◆令和2年度の予算執行

新型コロナウイルス感染症が地域経済や市民生活に及ぼした影響は大きく、令和2年度当初予算につきましては、一部事業の執行を停止するなど、緊急性等を十分精査した上で執行にあっています。併せて、既に5回の補正予算を計上し、ICTを積極的に活用するなど「新しい生活様式」の定着を図りながら、段階的に社会経済活動の回復に努め、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図ってまいります。

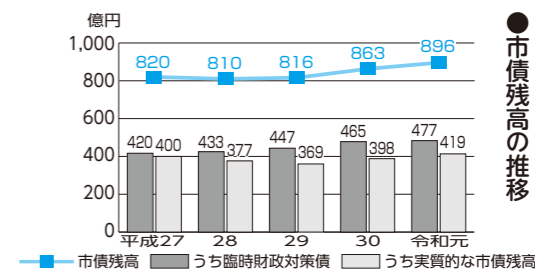
◆今後の財政運営見通し

今後は財源の確保がより難しい状況となることが見込まれるため、これまで以上に事業費の抑制や既存事業の見直しを進めるとともに、自主財源の確保やふるさと納税、有利な市債の一層の活用を図りながら、中長期的な歳入増加につながるような経済活性化策の展開などにより、今後とも財源の捻出にさまざまな対策を講じてまいります。



●使われたお金の内訳

1人当たりで一般会計を市民に見ると?



市債残高の推移

